

サクランボの歴史を学び剪定体験をするワークショップには13組の親子と、プロジェクトアンバサダーのウド鈴木さんが参加しました。セミナーはJAさくらんぼひがしね西部支店で行われ、講師はJAさくらんぼひがしねの奥山祐介係長。始めは加工用として広がったというサクランボ栽培の歴史や、年間の作業などについてクイズを交えて分かりやすく解説してくれました。続いてサクランボの畑に移動。生産者の植松真二さん(農業生産法人「松栗」代表取締役)が実際に剪定をして見せて、サクランボ生産に懸ける思いを語りました。参加した子どもたちはウドさんと一緒に剪定された枝を一生懸命拾い集めていました。

サクランボの歴史と剪定について学んだよ

第1回

第2回

紙ができる過程を学びノートを作ったよ

2回目のワークショップでは紙すき体験とリングノート作りを行いました。紙すきを教えてくれたのは日本製紙東北営業支社の池田隆男さんと今野良太郎さん。パルプと水、粉末にした剪定枝を容器で混ぜ、型に入れて水を絞り、アイロンで乾かしてはがき大の紙を作りました。またリングノート作りは大風印刷の渋谷恵さんと会津理央さんがサポート。印刷会社の製造工程で出た紙の端材を活用し、カラフルな素材を組み合わせでコラージュします。親子であれこれアイデアを出し合いながら、自分だけのノートを完成させていました。

未来につなごう山形愛

ワークショップレポート

山形県でサクランボ栽培が始まり150年という節目の今年、山形県の誇りと先人の創意工夫を未来へつなぐ、子どもたちの土台となる「山形愛」を育もうという願いを込めて始まった「未来につなごう山形愛」プロジェクト(主催・山形新聞社)。具体的にはサクランボの剪定枝をアップサイクルしたノートブックを作成し、今年入学の小学1年生にプレゼントします。プロジェクトの一環として、サクランボ栽培やアップサイクルへの理解を深めてもらおうと、2回のワークショップを開催しました。その模様をレポートします。

参加者の感想

ウド鈴木さんのおかげでとても楽しく学ぶことができました。サクランボの受粉に使う羽根に実際に触ったり、摘芽をしたり、普通ではできない体験をさせていただきました。

植松さんの「生産者の人たちのたくさんのお名前が作業があり、農産物はできている」という言葉がとても印象的でした。

生産者の皆さんの日頃のご苦労を知る良い機会となりました。たくさんの皆さんが関わっていることで、私たち消費者は生かされているんだな〜と、何十年も生きてきて恥ずかしながらこのたび考えさせられました。



参加者の感想

真っ白のフワフワパルプを初めて見ました。木が生活の身近なものへと変わっていく姿が分かってとても楽しかったです。紙やティッシュなど、普段何気なく使っていたものが今までより大事にしようと思いました。

印刷会社で不要になった用紙の切れ端を再利用するというアイデアがすごいです。いろんな紙の種類があって、手触りや光沢が違ってワクワクしました。

ウドさんが話を広げてくださるおかげで、より知識が深まり、楽しく活動できました。

アップサイクルノートが完成 県教育長に贈呈しました

サクランボの剪定枝を原料に加えたノートブックがこのほど完成。山形新聞社の寒河江浩二会長・主筆が県庁を訪ね、須貝英彦県教育長に贈呈しました。寒河江会長は「子どもたちが山形を愛する気持ちを抱き、環境保全に関心を深めてもらいたい」とあいさつ。須貝教育長は「ノートの理念を伝えたい」と答えました。ノートブックは県内の小学1年生約7000人に贈ります。



プロジェクトで製作したノートを須貝英彦県教育長(右)に手渡す寒河江浩二会長

サクランボ剪定枝のアップサイクルの仕組み



企画・制作/山形新聞社広告局 後援/山形県・山形県教育委員会
■プロジェクトに関するお問い合わせ 山形新聞社広告局「山形愛」事務局 〒990-8550 山形市旅籠町2-5-12 TEL023-664-0295

やまがたフルーツ150周年

2025(令和7)年は山形県でサクランボや西洋ナシなどの栽培が始まってから150年の記念すべき節目の年「やまがたフルーツ150周年」です。やまがたフルーツ150周年に、山形県全体で県産フルーツを盛り上げていくため、山形県さくらんぼ&フルーツPR協議会を中心に統一的なプロモーションを展開しています。



SPECIAL SUPPORTER

UNNO HOUSE
株式会社 ウンノハウス

TRYVENT

FUJIFILM 富士フイルム BI山形(株)

株式会社 三省堂印刷

日本製紙株式会社

放送大学
山形学習センター

進和ラベル印刷株式会社

日本生命

山形県民共済

ダイバーシティメディア
DiversityMedia

千歳の船機からふるさとを応援しています。
東船橋ふどうさん

山新建装株式会社

DENROKU

藤庄印刷株式会社

(順不同)

挑戦が、
やまがたを
強くする。

山形銀行

幸せが実る明日に、本気。

荘内銀行

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

「私たちの想い」
本業支援を通して
地域の「中小企業と
従業員」の皆さまから
喜んでいただき
地域と共に生きること

じもと
HOLDINGS

きらやか銀行



配電盤、動力盤、分電盤メーカー
株式会社 ワイム